

猪飼野史跡とコリアタウンを視察

近畿ブロック連絡会議を開催



史跡にてツアーガイドの説明を聞く

猪飼野（いかいの）の「猪飼（いかい）」とは、古代において家畜を飼う技術（養豚）のことで、この地では、今から1600年も前に、朝鮮半島より渡来し、当時の先進技術を日本に伝えた人たちがこの地に住んでいたことからそう呼ばれており、戦後も半島から来た在日の人々が「コリアタウン」を形成しています。史跡散策では、つるのはし跡や木村権右衛門屋敷跡、安泉寺等を巡り、商店街視察では、御幸通商店街（通称「コリアタウン」）を含め桃谷駅前商店街、鶴橋本通商店街の3つの商店街を視察しました。



御幸通り商店街を視察



視察の後、場所をホテルアウィーナ大阪に移し、連絡会議を行いました。

会議では、来賓として全国中小企業組合士協会連合会松崎副会長を迎え、各府県における協会の活動状況や、課題・今後の活動方針、また、組合士の活動機会の拡充について議論されました。特に兵庫県協会では、医療講演会や法務セミナー等、兵庫県中央会と共催で実施するセミナーの開催に力を入れていること、また大阪府協会では組合士の登録制度の確立に向けて模索の最中で、その一環として会員情報の収集や名簿の作成に向けて動き出していること等が発表されました。

会議の後、懇親会が催され、大阪府中小企業団体中央会より山口専務理事にもご出席いただきました。

また、席上で大阪府協会の安田副会長が華麗なマジックを披露し、盛況のうちに終了しました。



マジックを披露する安田副会長